

伝える ―災害の記憶― あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料 出品リスト

会期：2023年4月22日（土）～6月4日（日）

前期展示 4月22日（土）～5月8日（日）、後期展示 5月9日（火）～6月4日（日）

番号	作品名	製作時期	西暦・ 年代	展示期間	
				前期	後期
第1章 京都・大坂の災害史					
1	しんぱんきょうえず 新板京絵図	天明八年	1788	●	●
2	きょうらくちゅうおおやけのせつとどけ しだい 京洛中大焼節届の次第	天明八年	1788	●	●
3	てんめいはちねんきょうとたいかず 天明八年京都大火図	天明八年	1788	●	●
4	てんめいはちねんしょうがつみぞかきょうとたいか つきしよじききがき 天明八戌申年正月晦日京都大火二付諸事聞書	天明八年	1788	●	●
5	はなもみじみやこばなし じょう・ちゅう・げ 花紅葉都嘯上・中・下	天明八年	1788	●	●
6	こうかよねんたんどちほうあが やまいつけん 弘化四年丹後地方上り山一件	弘化四年	1847	●	
7	きょうとしゅうかりやくず 京都出火略図	嘉永七年	1854	●	
8	きょうとしよしよずえ 京都所々図絵	嘉永七年	1854		●
9	きょうとたいかのず 京都大火之図	嘉永七年	1854		●
11	かえいしちねんやまとほかに こくだいじしん 嘉永七年大和外二か国大地震	嘉永七年	1854	●	
12	しよこくちんじまつだいきろくかがみ 諸国珍事末代記録鑑	嘉永七年	1854	●	
13	かえいしちとらどしだいいしんき 嘉永七寅年大地震記	嘉永七年	1854		●
14	はやひきやくまわ ところほん だいじしん 早飛脚廻りにてくわしき所本しらべ 大地震	嘉永七年	1854	●	
15	ほん おおさかだいいしんたいほりやくき 本しらべ大坂大地震大破略記	嘉永七年	1854		●
16	ほん おおさかだいいしん しだいいよへん 本しらべ大阪地震の次第初編	嘉永七年	1854		●
17	かえいしちねんとらじゅういちがつしよこくだいじしんおおつなみならびにしゅうか 嘉永七年寅十一月諸国大地震大津波并出火	嘉永七年	1854	●	
18	かえいしちねんとらじゅういちがつおおさかだいいしんおおつなみ 嘉永七年寅十一月大坂大地震大津浪	嘉永七年	1854		●
20	きょうとしゅうかりやくず 京都出火略図	安政五年	1858	●	
21	へいあんたいかまつだいはなし 平安大火末代嘯	元治元年	1864	●	●
22	きょうとたいかのりやくず 京都大火之略図	元治元年	1864		●
23	きょうとたいかほん 京都大火本しらべ	元治元年	1864	●	
24	きょうときんせいたいかりやくず 京都近世大火略図	元治元年	1864		●
25	きょうとおおさかきんせいたいかりやくず 京都大阪近世大火略図	江戸～明治時代	19世紀	●	
26	きょうとたいかきじ 京都大火記事	元治元年か	1864	●	
27	ほん きょうとたいか せつこうへん 本しらべ京都大火の説後編	元治元年	1864		●
28	きょうとたいかたいこうきじゅうだんめぬきもんく 京都大火大功記十段目抜文句	元治二年	1865		●
29	らくちゅうたいかゆめものがたり 洛中大火夢物語	元治元年	1864	●	●
30	きょうおおさかふしみだいいしん 京大坂伏見大地震	文政十三年	1830	●	●
31	けいおうにねんけいはんちほうだいふううのず 慶応二年京坂地方大風雨之図	慶応二年	1866	●	
32	けいおうよんぼしんねんだいこうずいさいけんず 慶応四戊辰年大洪水細見図	慶応四年	1868		●
33	おおさか・さかい・ふしみかさいえず 大坂・堺・伏見火災絵図	慶応四年	1868	●	
34	ほん じょうしゅうふしみたいか ず 本しらべ城州伏見大火の図	慶応四年	1868		●
35	おおさか・ふしみしゅうか ず 大阪・伏見出火の図	慶応四年	1868	●	●
37	おおさかたいかぞうどうえず 大坂大火騒動絵図	天保八年	1837	●	
38	こめこうじき つきおおさかしちゅう なまえろくこうへん 米高直二付大阪市中にほどこし名前録後編	天保八年	1837		●
39	おおさかたいかのず 大阪大火之図	文久三年か	1863	●	
40	おおさかたいかばしよづけ 大坂火場所附	文久三年か	1863		●
41	おおさかこんじやくさんど たいか 大阪今昔三度の大火	文久三年	1863	●	

42	おおさかごんじゃくよんど たいか 大阪今昔四度の大火	明治四十二年	1909		●
43	おおさかたいかがぼう だいじゅうろくごう グラフィック大阪大火画報 第十六号	明治四十二年	1909	●	●
44	かえいねんかん こめそうばねだんならびにねんだいきかきめきしんぼん 嘉永年間より米相場直段并年代記書抜大新版	慶応四年か	1868	●	●
第2章 江戸の災厄と絵画					
45	かえいざんねんえどらくらい ず 嘉永三年江戸落雷の図	嘉永三年	1850	●	
46	らくらいほねつぎどろこてりょうじ 〔落雷骨接泥療治〕	嘉永三年	1850		●
47	しんらいこうせつ ぜん 震雷考説 全	安政三年	1856	●	●
48	やく にげじょう こと 家苦ばらい／ほうぼうへ逃状の事	江戸時代(安政頃か)	19世紀	●	●
49	めいれきたいか ず 明暦大火の図	明治三十二年	1899	●	
50	めいれきたいかえごういんくよう ず 明暦大火回向院供養の図	明治三十二年	1899		●
52	まもりふだ おおやさんにちぎょうじ 守礼 大矢山日行寺	江戸時代	19世紀	●	●
53	しょうしだいほうえのず 焼死大法会図	安政二年か	1855	●	
54	えどじしんせがき ず 江戸地震施餓鬼の図	安政二年	1855	●	●
55	あんせいけんもんし じょう・ちゅう・げ 安政見聞誌 上・中・下	安政二年	1855	●	●
56	じ べん 地しんの辨	安政二年	1855	●	
57	あんせいにうどしじゅうがつふつかよるじしんたいかぼしよいちらんず 安政二卯年十月二日夜地震大花場所一覽図	安政二年	1855		●
58	あんせいにうじゅうがつふつかじしんやけぼしよづけ 安政二卯十月二日地震焼場所附	安政二年	1855		●
59	あんせいにうじゅうがつふつかだいじしんつきるいしよぼしよ 安政二卯十月二日大地震附類焼場所	安政二年	1855	●	
60	かんとうだいじしんならびにしゅつか 関東大地震并出火	安政二年	1855		●
61	あんせいにねんだいじしん え 安政二年大地震の絵	安政二年	1855	●	
62	だいじしんきじ 大地震記事	安政二年	1855		●
63	かんとうるいしよだいじしん 関東類焼大地震	安政二年	1855	●	
64	あんせいにねんじゅうがつふつかよるいのかくだいじしんしよしつしちゅうそうどうず 安政二年十月二日夜亥刻大地震焼失市中騒動図	安政二年	1855		●
65	よ め てんじんがわどお つつみうえ えど ほう み ず 四ツ目ヨリ天神川通り堤上ニテ江戸ノ方ヲ見ル図	安政二年	1855	●	●
66	あんせいにいつほうねんたいしんたいか ず 安政二乙卯年大震大火の図	安政二年	1855	●	●
67	なみだによらい そんぞう 泪如來の損像	安政二年か	1855	●	●
68	おおさかくだ 大坂下りなまづのかるわざ	安政二年	1855	●	
69	ひやくまんべん じしん百万遍	安政二年か	1855		●
70	じしんひやくまんべん 地震百万遍	安政二年か	1855	●	
71	だいかっせんず 大合戦図	安政二年か	1855	●	
72	じしんきつきょうのべん 地震吉凶之弁	安政二年か	1855		●
73	なますふで ふるう 鯨筆を震	安政二年か	1855	●	
74	なます しょくにん なますだいじん あそ 鯨と職人たち／鯨大尽の遊び	安政二年か	1855		●
75	なますきんぎん は もちまる 鯨に金銀を吐かされる持丸	安政二年か	1855		●
76	ぬき おおかばやき ほね故どぞう／なまづおなんぎ大家場焼	安政二年か	1855	●	
77	こ 糸んまの子のわけ	安政二年か	1855		●
78	ちから ふうふ なまづのかばなし／なまづの夫婦やきもちばなし	安政二年か	1855	●	
79	うきよつじ 浮世辻うらなひ	安政二年か	1855		●
80	そくせきなます 即席鯨はなし	安政二年か	1855	●	
81	じしん まも ふだ 地震よけのお守り札	安政二年か	1855		●
81-2	うれ たいあんじつ なお あら嬉し大安日にゆり直す	安政二年か	1855	●	
82	なます おさ かしまだいまようじん 鯨を押える鹿島大明神	安政二年か	1855	●	●
83	しんめ なます 神馬と鯨	安政二年か	1855		●

84	なまず けち いせじんぐうしんめ 鯨を蹴散らす伊勢神宮神馬	安政二年か	1855	●	●
85	うちみほねぬきそくせきご じ 打身骨抜即席御りやう治	安政二年か	1855	●	
86	しんぱんとうかいどうじしんすごろく 新板東海道地震双六	安政二年か	1855		●
88	えどじゅうりしほうおおかせしゅうすいしょうしつぼしよづけ 江戸十里四方大風出水焼失場所附	安政三年	1856	●	
89	ごふくぼしそとおけちようがし かぜのず 呉服橋外桶町河岸つむじ風之図	安政五年	1858		●
第3章 諸国の災害と復興					
90	ひぜんのおくにしまぼらのず 肥前国島原之図	寛政四年か	1792	●	
91	しまぼらはんとうのず 島原半島之図	明治時代	19世紀	●	
92	まえやまはれつとうじ ず 前山破裂当時の図	明治時代	19世紀		●
93	しまぼらしがいぼうきんげんけい 島原市街傍近景	明治時代	19世紀		●
94	こうかていびはるさんがつにじゅうよつかしんしゅうだいじしんやまなだれかわふさぎたんすいのず 弘化丁未春三月廿四日信州大地震山頼川塞滞水之図	弘化四年	1847	●	
95	こうかていびなつがつじゅうさんにちしんしゅうさいがわほうけきろくぐんひょうとうのず 弘化丁未夏四月十三日信州犀川崩激六郡漂蕩之図	弘化四年	1847		●
96	こうかていびしなののくにだいじしんのず 弘化丁未信濃国大地震之図	弘化四年	1847	●	●
98	かわりけん	弘化四年	1847	●	●
99	こうかやねんしんしゅうちほうだいじしん 弘化四年信州地方大地震	弘化四年	1847	●	●
100	えどなまず しんしゅうなまず 江戸鯨と信州鯨	弘化四年	1847	●	●
101	あきのくにのおおみず 安芸国大水図	嘉永三年か	1850	●	
103	こうしゅうみのふさんだいじしん 甲州身延山大地震	嘉永六年	1853		●
106	じゅうつかこくだいじしん ず 十箇国大地震の図	嘉永七年	1854	●	
107	いせいがしまおみおわりみのだいじしん ず 伊勢伊賀志摩近江尾張美濃大地震の図	嘉永七年	1854		●
第4章 近代の災害とメディア					
108	のうびだいじしんごず 濃尾大地震後図	明治二十四年	1891	●	
109	のうびだいじしんず 濃尾大地震図	明治二十四年	1891		●
111	ぎふけんあいちけんたいじしんじっきょう 岐阜県愛知県地震実況	明治二十四年	1891	●	
112	びのうだいじしん 尾濃大地震	明治二十四年	1891		●
113	たんぼのくにふくちやまこうずいひがいの ず 丹波国福知山洪水被害の図	明治二十九年	1896	●	
114	きょうとしみんひがいのしやしよぶつびんおおくず おおつきんぼうこうずいひがいさんじょう ず 京都市民被害者に諸物品を送るの図/大津近傍洪水被害惨状の図	明治二十九年	1896		●
115	りょうしんまなこさいごみおく ず さんず 両親愛子の最後を見送るの図ほか三図	明治三十年	1897	●	
116	ざんりくかいししょうえほう 三陸海嘯絵報	明治二十九年	1896		●
117	いわてけんあおもりけんみやぎけんたいかいししょうがほう 岩手県青森県宮城県大海嘯絵報	明治二十九年	1896	●	●
118	めいじへいしんざんりくだいかいししょうのじっきょう 明治丙申三陸大海嘯之実況	明治二十九年	1896	●	●
119	おきらい しょうがっこうきょういんごしんえい さぎ だ ず 越喜来の小学校教員御真影を捧げ出すの図 かがりびためいのちひろえ ず かまいしちよう /篝火の為に命を拾ひ得たるの図(釜石町)	明治二十九年	1896	●	●
120	しんさいがほう ぜん 震災画報 全	大正十三年	1924	●	●
121	かくちさいがいずえ 各地災害図会	明治三十二年	1899	●	●
122	しゃかいしけんきゅう だいじゅうかんたいまんどろう にほんしんさいし 社会史研究 第十卷第四号 日本震災史	大正十二年	1923	●	●
123	ふうぞくがほう だいさんじゅうろくごう しんさいきふんぜんごう つづき 風俗画報 第三十六号 震災記聞前号の続	明治二十四年	1891	●	●
124	こうふしゅうとめすく かえつひめいおわ ず 孝婦姑を救はんとして還て非命に終る図 ききゅうのぞしんゆうきねんたくず /危急に臨み親友に紀念を託す図	明治二十四年	1891	●	●
125	だいみょう おくがたちのきず 大名の奥方立退の図	明治三十二年	1899	●	
126	こうかさねんしょうがつほんごうまるやまたいかときえちぜんやとり はな ず 弘化三年正月本郷丸山大火の時越前屋鳥を放つ図	明治三十二年	1899		●
127	やげあとみまいず 焼跡見舞図	明治三十二年	1899	●	
128	あんせいにねんじゅうがつえどだいじしんのせつかさいいちらん ず 安政二年十月江戸大地震之節火災一覽の図	明治三十二年	1899		●

129	かさい ず 火災の図	大正十二年	1923	(場面交換)	
130	ていだいしんさいえ 帝都大震災(絵ハガキ)	大正十二年	1923	●	●
131	うまやばしきょうはん ゆうけいほんじよてんじんぼしどおしやしん 厩橋々畔の夕景/本所天神橋通り(写真)	明治四十三年	1910	●	●
132	りさいしゃかくしゆふうぞく 罹災者の各種風俗	明治四十三年	1910	●	●
133	あづまばし びーるがいしやふきん しちずえ 吾妻橋サッポロ麦酒会社附近ほか七図(絵ハガキ)	明治四十三年	1910	●	●
第5章 疫病との向き合い方					
134	どうそうちりょうほう 痘瘡治療法	江戸時代	19世紀	●	●
135	あんせいうまあきころりゅうこうき 安政午秋頃痢流行記	安政五年	1858	●	●
136	どく こころえぐさ はしか毒いみ心得艸	文久二年	1862	●	●
137	えきれいすみや ち みょうやくほう 疫癘速かに治する妙薬法	文化十二年	1815	●	●
138	りゅうこうぼうしゃびよりょうじほう 流行暴瀉病療方	安政五年	1858	●	●
139	りゅうこうぼうしゃびよりょうじ おふれがきうつし 流行暴瀉病療法の御触書の写	安政五年	1858	●	●
140	だいにほんすりょうづきぼうびようおすくいにんべつのうつし 大日本数量附暴病御救人別之写	安政五年	1858	●	●
141	やくよけ もん しょへん・にへん 厄除わらふ門 初編・二編	文久二年	1862	●	●
142	どうじりゅうこうびりょうじょうみょうでん 当時流行病療養妙伝	江戸時代(安政頃か)	19世紀	●	●
143	りゅうこうはしか 流行麻疹やくばらい	江戸時代	18世紀	●	●
144	もの しんぱんない物づくし	文久二年	1862	●	●
145	はしかようじょうほう 麻疹養生法	江戸時代	18世紀	●	●
特別展示 近世・越後の地震					
N1-1	えちごのくにくびきぐんたかだりようおうかんはそんしよえず 越後国頸城郡高田領往還破損所絵図(上越市公文書センター所蔵)	寛延四年・宝暦元年	1751	●	●
N1-2	たかだおもてだいじしんのせつにつき 高田表大地震之節日記(榊原家所蔵・旧高田藩和親会管理/上越市立歴史博物館寄託・新潟県指定文化財)	寛延四年・宝暦元年	1751	●	●
N1-3	おそれながらかきつけをもつてごちゅうしんもうしあげそうろう 乍恐以書付御注進申上候 名立小泊村被災状況注進(上越市公文書センター所蔵)	寛延四年・宝暦元年	1751	●	●
N1-4	どうゆうき 東遊記 卷二(新潟大学附属図書館所蔵/佐野文庫)	寛政七年	1795	●	●
104	えちご くにだいじしん 越後の国大地震	文政十一年か	1814	●	●
N2-1	ちようしんひかん 懲震盛鑑(個人蔵・新潟市指定文化財)	江戸時代後期	19世紀	●	●
N2-2	りょうかんかんし こうしゃくざんちゅうぶつじあり 良寛漢詩「香積山中有仏事」(出雲崎町良寛記念館所蔵)	江戸時代後期	19世紀	●	●
N2-3	えちごじしんくどき 越後地震口説(新潟県立図書館所蔵)	江戸時代後期	19世紀	●	●
N2-4	えちごじしんくどき 越後地震口説(新潟県立図書館所蔵)	江戸時代後期	19世紀	●	●
N2-5	えちごじしんくどき ぼくえつじしんじつろく 越後地震口説(北越地震実録)(新潟大学附属図書館所蔵/佐野文庫)	江戸時代後期	19世紀	●	●
N2-6	じしんへんじおたしどうしよ 地震変事御札答書(個人蔵/新潟市立新津図書館寄託/小泉蒼軒文庫・新潟市指定文化財)	江戸時代後期	19世紀	●	●
N2-7	しちごんぜつく じしんあつしずし 七言絶句「地震圧死四詩」(新発田市立歴史図書館所蔵)	文政十一年か	1828	●	●
N2-8	ながおかわいきゆうざつし 長岡懐旧雑誌(長岡市立中央図書館文書資料室所蔵)	明治十二年	1879	●	●
105	ぼくえつしんどうし 北越震動誌	安政五年か	1858	●	●
N3-1	しんしゅうおおじしんぼしよえず 信州大地震場所絵図(新潟県立歴史博物館所蔵)	弘化四年	1847	●	●
N3-2	しんしゅうおおじしんかわらばん 信州大地震瓦版(個人蔵/新潟市立図書館寄託)	江戸時代後期	19世紀	●	●
N3-3	しんえつちどうろく 信越地動録(新潟県立図書館所蔵)	江戸時代後期	19世紀	●	●
N3-4	ぜんこうじしんやまくずれのず 善光寺地震山崩れの図(新潟市立新津図書館所蔵)	弘化四年	1847	●	●
N3-5	しんしゅうおおじしんにてやまくずれたんすいぼえず 信州大地震二西山崩濫水場絵図(新潟市立新津図書館)	弘化四年	1847	●	●
N3-6	しんしゅうぜんこうじおおじしんやけえず 信州善光寺大地震焼絵図(新潟市立新津図書館所蔵)	弘化四年	1847	●	●
N3-7	しんしゅうじしんくずれそえず 信州地震崩絵図(個人蔵/新潟県立図書館所蔵)	江戸時代後期	19世紀	●	●
N3-8	ひのとみずいひつ 丁未随筆(個人蔵/新潟市立新津図書館寄託/小泉蒼軒文庫・新潟市指定文化財)	弘化四年	1847	●	●